



三稜会会報

津島高校同窓会



令和6年7月12日 第73号

発行 三稜会
(津島高校同窓会)
事務局(津島高校内)
〒496-0853
津島市宮川町3-80
電話 0567-28-4158
発行人 北角 浩一

愛知県立津島高等学校 附属中学校 校舎及び体育館 完成予想図



新たな一歩

三稜会会長 北角 浩一



新型コロナウイルス騒動が終わり、一年が経ちました。正常な活動が再開されて、全てがコロナ前に戻ったかといえば、戻ったところもあれば、戻っていないところもあり、そのほか気付いたことが出てきたりと、前と後では違う世界に住んでいるようにも感じます。明らかに変わったのは、物価高や税金・社会保険料の増額であり、生活水準が低下してしまっているのはやがて発展途上国という声も出てきている状況です。二〇二〇年の新型コロナウイルス騒動からの五年、社会は激変の真つただ中といえるでしょう。

そういつた状況の中、我等の母校である津島高等学校は二〇二五年四月より「津島高校附属中学校」が開校します。中学校から高等学校への一貫教育が開始になり、未来を感じる激変の真つただ中に入ります。三稜会では規約を変更し、現役中学生も準会員とし、同窓会からのサポートが可能にすることにしたいと考えております。既に三稜会の重要な予算として国際交流費を立てており、国際探究を重視する学校と協力し、志望者を増やし全体の学力を上げていくことに貢献していきます。

また、学校の要望を聞きながら、その他の支援も検討していきたいと思っております。その際には、三稜会会員の皆様にも、ご理解・ご協力をいただきたくお願い申し上げます。津島高校附属中学の開校日である二〇二五年四月一日は、津島高等学校にとって、

非常に重要な転機となる歴史的な日となるに違いありません。

一方、三稜会におきましては、長引く経済不況、少子高齢化など環境の大きな変化によって、あり方を考え直す時期に来ていると思われまます。先日、六回生の方々の同窓会が新聞の記事に出ておりました。こういった喜ばしい機会を増やすためにも同窓会の事業をスリム化し、同窓会活動にご協力いただける方を増やしていく必要があります。

創立一〇周年を記念に創設された懸賞論文「稲葉真弓賞」について、多くの協賛企業、教員の皆様、また同窓会有志の方々や審査に関わっていただいた方々などご協力いただき、来年十五回を迎えることとなりました。これまで、多くの方に参加いただきましたが、十五回を最終回として盛り上げたいと考えております。西尾張地区の全ての高校にご参加をいただき、「文章を書く」という意義を広く広めることができました。これは、同窓生ではないかと自負しております。同窓生である稲葉真弓さんが永眠され十年が経ちます。心よりご冥福をお祈りするとともに、この地域に「文学」という素晴らしい芸術に接する機会を授けていただいたことに感謝いたします。

さて、コロナ禍が明け、一年が経ちます。今年の総会・懇親会を名古屋名鉄グランドホテルで開催する運びとなりました。是非とも同窓生をお誘いいただき、ご参加いただけますようお願いいたします。皆様におかれましては、コロナ禍を通じて、お互い顔合わせ、昔話に花を咲かせることの重要性を認識することができたのではないのでしょうか。ホテルでの開催をご提案いただいた幹事の皆様方に心より御礼申し上げます。最後になりますが、皆様方の健やかな生活を祈念いたします。

今年度、津島高校はハード面、ソフト面ともに大きくリニューアルが進んでいます。ご承知のとおり、次年度から愛知県の公立学校初となる中高一貫教育が始まりますので、これに伴う「附属中学校」の設置、高校普通科の一部「国際探究科」への改編、そしてハイレベルで先進的な「国際水準教育プログラム」の導入準備を行っています。目指すところは、生徒の主体性に基づく「探究的な学び」の実践です。これにより、社会の諸課題に積極的に立ち向かい、未来を切り拓く「チェンジ・メーカー」となる人材を育成していきます。

ハード面では、附属中学校校舎と小体育館（第二体育館）の建設工事が始まりました。今後、探究的な学びに適した教室等の施設整備や、新たな教材の導入も進めます。

ソフト面では教育体制の進化、すなわち「教師が教える学校」から「生徒が学ぶ学校」への変革を図っていきます。ハード面の整備とは異なり、実践できるものから今年度の教育課程に落とし込み、先行投入しています。いくつか具体的な取り組みをご紹介します。

まず、「地域と連携した探究的な学びの実施」です。国が定めた現行の学習指導要領では課題解決的な探究活動の実施が提示されていますが、本校では単なる知識定着のみではなく、生徒に「なぜそのように考えるのか」と問うことで生徒の思考力や判断力を養っています。

さらに、「その判断の根拠は何か」と批判的思考（クリティカル・シンキング）を促すことでものごとを鵜呑みにせず、学問的に誠実な議論ができるよう働きかけています。

このような学びを基盤として、地域の複数の有識者による基調講演を皮切りとする「地域探究」

さらなる高みを目指して



お 男
ふみ 文
て 手
かわ 川
校長

により全生徒が基礎的な探究活動に取り組んでいます。次年度以降は各生徒が自身なりのテーマを設定し、より本格的な研究に取り組むことで、実行力の備わったグローバルリーダーを育成していきます。

次に、「大学・研究機関との包括的な連携」です。既存の中学校や高等学校の枠を超えた学びを実施していくために、東京大学、京都大学、名古屋大学と連携していくほか、愛知教育大学、愛知県立大学といった県内の大学からも支援をいただいています。

四月末のPTA総会においては京都大学の楠見孝教授に保護者・職員を対象とした講演をお願いしました。「なぜ、探究的な学びが注目されているのか」「それが本校に導入される意義は何か」を丁寧にご説明いただきました。この講演も新しい学びの先行投入と言えます。三点目は「グローバル活動の拡大」です。本校はこれまでも同窓会の皆様のご支援による海外研修や英語合宿などの活動を進めてきましたが、昨年度はタイ国内に二校目となる姉妹校を設けたほか、各国の在名古屋領事館との交流を深めることができました。今後、世界へ羽ばたく生徒を育てていきます。さて、先般報道された「消滅可能性都市」という言葉には驚かれたかもしれませぬ。しかし、私たち津島高校と附属中学校が魅力を最大限に発揮することで、地域の活性化を図ることができるものと思っています。むしろ、そのことを見越して県からミッションが与えられていると考えています。伸びゆく本校にご期待ください。

結びに、同窓会の皆様には、日頃のご援助に心からの感謝を申し上げます。今後、格別のご支援を賜ることをお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

9月8日(日)開催

令和6年度 総 会



今年度幹事学年
杉本静哉 代表

今年度幹事学年を務めさせていただきます。47回生代表の杉本静哉（すぎもと しずや）と申します。

27回生の皆様、卒業50周年をお迎えになりますことを心よりお祝い申し上げます。

本年、九月八日（日）名鉄グランドホテルにおきまして、三稜会総会及び懇親会（祝賀会）の開催を予定しております。新型コロナウイルスが2類から5類に移行され、少しづつではありますが、終息に向かっていると感じています。こうした世の中での現状を踏まえ、三年ぶりに名古屋地区での開催に踏み切りました。有意義な時間を過ごしていただけるよう準備を進めてまいります。多くの卒業生の方にご参加いただけますとお願ひ申し上げます。

私たち47回生は卒業後30年という月日の経過の早さに驚きつつ、昨年度より同級生の協力者を募り、伝統ある津島高校同窓会「三稜会」を長きにわたり諸先輩方が脈々と引き継がれてこられた想いを継承していくこと、27回生の方々、現役生徒の皆様、津島高校に対して何ができるのかを考え、幹事学年の活動を始動いたしました。

総会に向けて

30年前にタイムスリップし、皆で大きな目標を成し遂げるための貴重な機会をいただき有し、この時間を仲間と共に進めたいと思います。現状ではまだまだ準備不足は否めませんが、当日まで47回生でベストを尽くし、50周年のお祝いの日を盛り上げていきます。どうか暖かく、見守っていただくと幸いです。我々の母校は愛知県における中高一貫校の第一期校に指定され、国際パカレアの理念を念頭において学校改革が行われています。創立一二四年の歴史を誇る母校を、同窓生が力を合わせ、母校の為に少しでもお役に立てれば幸いです。最後に申し上げますが、母校の益々の発展と、会員の皆様の更なるご活躍を祈念し、まして幹事学年代表挨拶に代えさせていただきます。47回生代表幹事 杉本 静

今年度から名古屋のホテルが会場になります。

令和6年度 三稜会

（愛知県立津島高等学校同窓会）

開催日 令和6年9月8日(日)
会 場 名鉄グランドホテル
（名古屋市中村区名駅1-2-4）
TEL 052-582-2211

会 費 12,000円

＜三稜会総会＞

受付 9時30分より

開始 10時30分より

同懇親会

受付 11時00分より

開始 12時00分より

令和6年度三稜会（津島高校同窓会）総会・懇親会のご案内

伝統ある母校の同窓会に於いて、今年度も9月に総会・懇親会を予定しております。今回は以前のように名古屋のホテルを会場とします。（詳細は会報2ページ「総会に向けて」をご覧ください。）皆様お誘いあわせの上、是非ご来場ください。

○総会・懇親会の開催について

役員、各回生の幹事の皆様を通じて総会・懇親会のお声かけがあると存じます。大変お世話になります。ご多用とは存じますが皆様のご来場をお待ち申し上げます。

○卒業50年のお祝いについて

例年、総会・懇親会に於いて母校卒業50年目の節目をお祝いしております。（今回該当されるのは全日制27回生・定時制24回生の方々です。）この度は当日の会場（名鉄グランドホテル）にて卒50年の回生のお祝いも一緒にさせていただきます。是非ご来場ください。

○卒業30周年のお祝いについて

例年卒業30周年を迎える回生に総会・懇親会のお世話をさせていただいております。今年お世話いただく幹事学年は全日制47回生の皆様です。現在幹事学年の実行委員会では準備を進めております。また、卒30年をお祝いする企画もございます。是非旧交を温めてください。恩師の先生方にも連絡を取っております。

（幹事学年の皆様には別途ご案内が届きます。ご覧いただきまして、是非ともご出席いただきますよう、お待ちしております。）

○育英募金へのご協力をお願い

懇親会の会費の納入用紙では、育英募金の振込もできるようになっております。ご承知の通り津島高校は来年附属中学校が開校します。新たに80名の中学生を迎えるにあたり、教育環境の充実が急務となっております。多くの皆様に、よろしければ母校の節目に当たりご支援賜れば幸いに存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

（お問い合わせ先）

令和6年度津島高等学校同窓会実行委員会
幹事学年：47回生 実行委員長 杉本 静哉
津島高校同窓会事務局 TEL 0567-28-4158（代表）



「旧講堂と本館」

総会を終えて



北角会長



卒50(26回生)代表 伊藤信道様



川手校長



2023.9.16 津島市文化会館



幹事学年代表 桑原様



伊奈事務局長



浅井副会長



総会の壇上



本校の新しい制服



高校46回生代表 桑原 大輔

我々46回生は、幹事学年を務めさせていただき、昨年9月16日に「三稜会」の総会および卒業50周年のお祝いの会を無事開催することができました。ご出席いただきました皆様はじめ、多大なるご支援をいただきました三稜会会員、役員の方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。

我々幹事学年も、30年ぶりに顔を合わせ、学生のころとはまた違う成長した姿で会し、慣れないながらも、このイベントの成功に向けて一緒に一年という時間を過ごせたことが、何よりの財産です。

楽しいことばかりでなく、苦勞も少なくありませんでし

三稜会幹事学年を終えて

たが、意見をぶつけ合い、助け合いながら、一つのことに取り組めた時間は、津島高校卒業生ならではの経験であり、津島高校で3年間過ごした仲間だったからこそ成し得たのではないかと感じております。

高校の3年間の楽しい思い出のみならず、大人になった今なお、楽しい思い出を作らせてくれた仲間へ感謝したいです。

みんな本当にありがとう。

最後になりましたが、母校の発展と、三稜会の会員皆様のご健勝とご多幸を祈念し、御礼の挨拶とさせていただきます。

総会を終えて



47回生代表

三稜の鍵の引き継ぎ

46回生代表

幹事学年から校長先生に奇贈目録の贈呈と校長先生からのお礼

なつかしのスライドショー

懇親会全景

幹事学年奇贈品～お知らせとお礼～

昨年度幹事学年46回生の皆様より、南館昇降口前に駐輪場を設置していただけることになりました。現在附属中学建設中のため、その工事が終了次第着工していただける予定です。誠に有り難うございます。

ホームカミングディのお知らせ

毎年母校津島高校の三稜祭(学校祭)中に催しております。今年は9月6日(金)9:00～14:00に予定しております。(万一台風等の事情で中止になる場合は、三稜会のホームページでお知らせ致します。)

同窓生の叙勲報告

瑞宝小綬章
農林水産行政事務功労
伊藤英明様(高24回)
教育功労
館様(高6回)
瑞宝双光章
総務省事務功労
日比野均様(高21回)
おめでとうございます。

昨年の会報発行(令和五年七月)以来、事務局で把握している叙勲受章者は以上の方々(五十音順)です。新たに叙勲された他の方を御存知でしたらお知らせください。

令和6年度 三稜会事業計画(案)

- 校内事務局打ち合わせ 令和6年4月5日(金)
- 第1回三稜会理事会・幹事会 令和6年5月25日(土)
 - 事業報告 (2) 事業計画
 - 会計(三稜会・三稜育英会)報告 同監査報告
 - 予算案 (5) 役員改選
 - 総会に関すること(幹事学年47回生)
 - 令和5年度稲葉真弓賞(第14回三稜会懸賞論文)表彰
 - その他(附属中学校新設に伴う同窓会規約の改定について等)
- 三稜会会報(第73号ならびに別冊)の発刊 令和6年7月予定
- ホームカミングディ
津島高校三稜祭(文化祭初日) 令和6年9月6日(金)の予定
注:3年前から土曜日は地元中学生に開放するため、同窓会は金曜日に設定。
- 令和6年度総会・懇親会(幹事学年:高校全日制47回生)
○総会 令和6年9月8日(日)
(会場:名鉄グランドホテル)10時30分より 会場予約済み
1)役員改選
2)津島高等学校勤続十年表彰(全日制47回生)
3)令和5年度事業報告・令和6年度事業計画の報告
4)令和5年度決算報告・令和6年度予算の報告
○懇親会:総会当日午後 12時~14時
- 第2回三稜会理事会・幹事会 令和7年2月予定(期日未定)
- 三稜会入会式(全日制第77回生)令和7年2月27日(木)
卒業証書授与式 2月28日(金)
(全日制第77回生・定時制第74回生)

令和6年度 三稜育英会事業計画(案)

- 理事会・評議員会 令和6年5月25日(土)午後 於:応接室
(1)事業報告 (2)事業計画
(3)会計報告 同監査報告 (4)予算案 (5)役員改選
- 令和5年度稲葉真弓賞(第14回三稜会懸賞論文)選考会
令和6年5月4日(土)
- 令和5年度稲葉真弓賞(第14回三稜会懸賞論文)表彰式
令和6年5月25日(土)
- 令和6年度稲葉真弓賞(第15回三稜会懸賞論文)募集
令和6年10月要項・ポスター配布予定(題は「生きる」)

令和5年度 三稜会事業報告

- 校内事務局打ち合わせ 令和5年4月
- 第1回三稜会理事会・幹事会 令和5年5月27日(土)
 - 事業報告 (2) 事業計画
 - 会計(三稜会・三稜育英会)報告 同監査報告(監査 山岸監事)
 - 予算案 (5) 役員改選
 - 令和5年度総会と懇親会の日程について(幹事学年46回生)
 - 稲葉真弓賞(三稜会懸賞論文)の選考結果について(審査委員会)
 - 三稜賞表彰について
 - その他
- 三稜会会報(第72号ならびに別冊)の発刊 令和5年7月14日発刊
- ホームカミングディ
三稜祭(文化祭)9月8日(金)
- 令和5年度総会(幹事学年:高校全日制46回生)
○総会:令和5年9月16日(土)
会場:津島市文化会館 受付9時30分~開式10時30分
1)役員改選
2)津島高等学校勤続十年表彰(難波教諭)
3)令和4年度事業報告・令和5年度事業計画の報告
4)令和4年度決算報告・令和5年度予算の報告
5)卒50年会員表彰(高26回)
○懇親会:総会当日午後 受付11時30分~開式12時00分
- 第2回三稜会理事会・幹事会 令和6年2月3日(土)
- 三稜会入会式(全日制第76回生)令和6年2月29日(木)
11:45~ 於:津島高校三稜館
卒業証書授与式 3月1日(金)
(全日制第76回生・定時制第73回生)

令和5年度 三稜育英会事業報告

- 理事会・評議員会 令和4年5月27日(土) 於:応接室
(1)事業報告 (2)事業計画
(3)会計報告 同監査報告 (4)予算案
- 令和4年度稲葉真弓賞(第13回三稜会懸賞論文)選考会
令和5年5月6日(土) 於:応接室
- 令和4年度稲葉真弓賞(第13回三稜会懸賞論文)表彰式
令和5年5月27日(土)幹事会にて
- 令和5年度稲葉真弓賞(第14回三稜会懸賞論文)募集
10月要項・ポスター配布 題「交流」
募集期間 令和5年11月1日~令和6年1月31日

令和5年度 三稜会(一般会計)収支決算書

自令和5年4月1日	収入総額	3,215,006 円
至令和6年3月31日	支出総額	1,881,476 円
	差引残額	1,333,530 円

収入の部

科 目	予算額	収入済額	増 減	摘 要	令和6年度予算額
入 会 金 収 入	1,875,000	1,915,000	40,000		1,875,000
繰 越 金 よ り	0	0	0		0
そ の 他 の 収 入	100	1,300,006	1,299,906	利息、北角会長寄付	100
合 計	1,875,100	3,215,006	1,339,906		1,875,100

支出の部

科 目	予算額	支出済額	残 額	摘 要	令和5年度予算額
会 報 費	1,300,000	1,447,107	△ 147,107	会報・別冊印刷代	1,300,000
慶 弔 費	50,000	43,550	6,450	故児玉甚之助校長	50,000
生 徒 記 念 品 費	180,000	232,256	△ 52,256	卒業証書ホルダー	180,000
会 議 費	60,000	15,885	44,115	茶菓代等	60,000
事 務 費	170,000	122,568	47,432	郵送費等	170,000
そ の 他 の 支 出	115,100	20,110	94,990		115,100
合 計	1,875,100	1,881,476	△ 6,376		1,875,100

当年度収支差額	0	1,333,530			0
前年度繰越総額	1,635,479	1,635,479		前年度貸借対照表より	0
繰越金	1,333,530	1,333,530			0
次年度繰越総額	2,969,009	2,969,009			0

備考:各科目間の流用を認める。

(円)

三稜会(一般会計) 貸借対照表

令和6年3月31日現在

科 目	金 額
I. 資産の部	
普通預金 普通預金 三菱UFJ銀行 津島支店	2,969,009
貯 蔵 品 卒業50年記念品「木杯」(1473個)	5,450,100

※卒業50年の記念品「木杯」は、令和4年度会計で購入した。

恩師のたより

今、思うこと

一組担任

加賀 正憲 先生



四十七回生の皆さん、お元気でお過ごしのことと思います。津島高

校には、三十代半ばから四十代半ばにかけての十一年間と定年後の一年の再任用で、計十二年間お世話になりました。

私にとって、四十三年間の教員生活で最も心に残っているのが、二校目の津島高校での教員生活です。明るく、のびのびとした生徒たち、気兼ねなく話ができた先生方のおかげで、本当に楽しい毎日でした。
今、私は七十代半ばにさしかかり、年相応に心身の衰えを感じるようになりました。それでも、毎日、変化のない同じようなことの繰り返しができる、ということを有り難く思います。今後も、そこそこ元気で、次のことを心に留めながら過ごしていきたいと思っています。多分に自分に都合のよい心得ではありませんが：
○ゆったりとゆたかに光を浴び、風に吹かれて畑仕事や庭いじりをする。
○頑張らない日があったほうがよい。怠けることが薬になることも

ある。

○完璧を目指さない。ほどほどが丁度よい。
○無理な緊張は健康によくはない。
○周りの人の心を傷つけない言葉遣い、態度を心がける。
○頭は大事なところ。あまり空っぽにしないで、一つや二つは苦勞させたほうがよい。
○ここまでなんとか無事に生きてこられたのも家族、地域の人たち、その他多くの方々のおかげであることを忘れないようにする。

近況

二組担任

馬場

健 先生



皆さんお元気ですか？私は七十五才になりました。歳のわりに元気で、

あちこちでかけたたり、趣味のDIYで家の模様替え等をしたり、庭の菜園の世話をしています。この三十年、当たり前ですが、多くのことが起こりました。多くの人と出会いました。今どうしているのかな、元気かな、と思いを巡らします。良いこと悪いこと、忘れられないこと、思い出せないこと、いろいろです。
断捨離を考える歳となりましたが、まだまだ未練は断ちがたく、この理不尽な世への不平不満怒り愛着は尽きません。しかし捨てるべきでしようか。

我が家は来訪者もほとんどなく、

さながら「ポツンと一軒家」状態です。私だけなのか分かりませんが、いつの間にか多くのできごとのなかで、見たくないこと、知りたくないことは、自分の視界から外すようになってきました。今は、スマホからも縁を切りたいと思っています。現在の生活は不満もありませんが結構気に入っています。許されるなら、もうしばらくの間、この生活が続くことを願っています。私は未来については、そんなに悲観しているわけはありませんが、あまり楽観的な希望も持ち得ません。皆さんはどうでしょうか？どうか皆さんには明るい希望未来がおとずれることを願っています。

「学校事故」について

三組担任

伊藤

孝 先生



学校事故について、被害生徒のための無過失を前提にした日本体育学校健康

センター法による災害給付金制度があるが、この制度の長所と短所もあるが、それを克服する方法も多く検討されている。
困難なのは「いじめ」である。この「いじめ」は陰湿で、これを特定することは難しい。有形力を使うわけがないからである。被害生徒も、それに絶望して「自殺」という、最後の手段を使い、苦し

みからのがれるのである。

私が経験したなかでは、印象に残っているのは、暴力団員の力を借りた例である。教師、学校に絶望した生徒の親が暴力団員に頼ったのである。あたかも、一瞬にして解決したのである。最近、フランスでいじめが解決した例で、警察が逮捕したという例である。そこまで踏みこんだのは、やはり、説諭することは困難であるからである。これを読んでいただいで皆さんは、どう思われますか。

私の近況

四組担任

青木

茂 先生

六十九歳まで非常勤講師をつとめたが、七十歳から毎日が日曜日になった。それから天気が良い日は畑仕事や庭仕事、そして散歩。雨の日は読書と大型施設内の散歩。月に二度くらいのペースで低山も歩いた。ほんとうはもっと高い二千メートル三千メートル級の山にも登りたいのだが、自分の体力と相談してほぼ千メートル以下の山をネットで検索して出かけた。低山は低山なりの面白さや味わいがあり楽しいものだった。

ところが、一昨年のはじめ頃からめまいや意識がとびそうになることが起こるようになり、病院で様々な検査を半年にわたって行った結果、おもに心臓にかかわる国指定の難病であることが判明した。昨年四月から治療が始まったが、薬の副作用が強く食欲がなくなり、

体重もがくんと減った。生ものは魚だけでなく野菜も果物も禁止。土にさわるな、人混みのなかに出るな、もちろん運動もダメ。楽しみがなくなりつつあった。

しかし、苦しい治療は半年で終わり、その後薬の量が減ったおかげで、今はだいぶ体力が回復してきている。心臓の具合はあまり改善していないが、日常生活に不便することはなくなっている。

今手元に昨年六月から十月までの医療費通知書がある。それによると医療費の総額は約五百五十万円、個人負担額は十三万円となっている。私の病気は比較的最近解ってきた病気でその治療薬も新しく高額だそう。私は高額医療制度によって生かされているともいえる。

昨年十月には三十年前に担任したクラスのクラス会に参加、十一月には子供たちに喜寿の祝いの会を開いてもらい、十二月には大学の時代の友人に金沢日帰り会うことができた。

毎日だれかに支えられて生きていることを忘れずに、これからの日々を大切にしていきたい。



社会科学室にいます！

五組担任

金子 誠司 先生



四十七回生の皆さん、お久しぶりです。もう卒業三十年なんですね。驚きです。

私の転居先が同窓会に伝わっていなかったため、連絡の封書が津島高校に返送され、担当の方が「金子先生どこにいるんだろう？」と困っていると、周りから「……社会科学室だけど……」と声がかかったそうです。「ここにお見えでしたか」と連絡が手渡しされました。そう、三月現在、私は津島高校にいます。

定年退職して再任用教諭となり、五年間の再任用最後の年に津島高校に配置されました。ラストがここになるとは思いもありませんでした。面白い運だと感じます。津島高校の門をくぐると、建物は昔のまま、校舎の中も全く同じ、時の流れを感じません。昔が思い出されます。ただし今の教育内容に合わせて自分自身をアップデートしなければならず、若い先生方から刺激を受けて頑張っています。もはや私のメインエンジンは出力不足なので、補助ロケットに点火して、あと少し飛びたいなと思っています。卒業後三十年を迎えた皆さんはどこまで飛んでいるのでしょうか。その原動力の一端が皆さんと一緒に

に過ごした高校生活にあるならば幸いです。今から思えば、反省ばかりのあの頃です。思わず冷や汗が出てしまいます。

どうやら令和六年度も非常勤講師として津島高校に残れそうです。おそらくあと少しであろう教員生活を津島高校を見ながら閉じていくのは幸せです。今日は卒業クラス文集を引き出してみます。皆さんもお元気で過ごしてください。

思い出の津島高校

六組担任

村上 敏之 先生



四十七回生の皆さん、お元気でですか？

三十年もたつと、高校生の頃には考えもしなかったような道を歩んでいる方も多いのではないのでしょうか？

学校では「将来行く道を考えて進路を決めよう」と言っていますが、考えたようにならないのが人生だと感じることも多くある年齢になっていると思います。

私は皆さんに会おう一年前に津島高校に転勤してきました。皆さんと三年間を過ごした後三十年間ずっと津島高校で働くとは考えもしていませんでした。ずっと、この場にいると、学校の変化に気付かないのですが、ふっと気が付くと多くのことが変わったと感じます。

私は今年で津島高校を去ることになると思います。最後の年が津島高校で、最初に送り出したみなさんが同窓会の幹事学年になる年になるのは因縁めいていると感じます。

いつしよに植えた桜はとても大きくなくなってきれいな花を咲かせています。たぶん、皆さんも立派になられていることでしょう。私はもう晩年を迎え、体も頭も思うようにならなくなってきていますが、皆さんはこれから社会でも家庭でも大きな責任を担っていくことになると思います。健康に気を付けて活躍されることを期待しています。

津島高校の思い出

七組担任

山田 知生 先生



昭和六十一年から十二年間、津島高校に勤務しました。ずいぶん時間がかかって

しまいました。今思い出すと、楽しい思い出ばかりです。部活、部活の毎日、LTでのソフトボールやバレーボール、弁当を持ち天王川公園に行ったことも。クラス菜園を作って、収穫後にはパーベキュー。学校祭のクラス企画やブロックシンポルの制作。中でも、印象に残っているのは、統一LTの企画です。3か月程前に委員会を立ち上げ、毎週のように集まっ

て、どうしたらみんなが楽しめるか相談していたことを思い出します。時間がかかる作業でしたが、とても楽しく、僕にとっても良い経験になりました。時代がまだ緩やかだったことや、自由な校風、先生方や生徒に恵まれたことで、やりたいことをやらせてもらったという気がします。この津島高校での経験が、その後の僕の教師としての基本になりました。とてもいい時間を過ごしたと思っています。

津島高校から祖父江高校へ転勤。その後、起工業高校（現一宮起工科高校）、津島東高校と歴任し、昨年、定年退職を迎えました。今は再任用教諭として勤務しています。地歴公民科は大きくカリキュラムが変わったので、この年齢になってもいろいろ新しいことを勉強しなければならず、それなりに大変です。年相応にあらちこ故障もあります。年相応にあらちこ故障もあけようと思っっています。卒業生の皆さんも健康に気をつけてください。皆さんのますますのご活躍をお祈りします。

校庭の桜

八組担任

小島 小夜子 先生

四十七回生の皆さん、お元気ですか。卒業アルバムを開いたら、すぐに下のグラウンドの桜並木が目に入りました。添え木のついた苗木は、二年生の時皆さんといっしょに植樹しました。必修クラブの時間でしたが、こんな素人の植え方

で根付くものなのかしらと心配でした。でも今や立派な桜並木に育ちました。見る度、懐かしく三十年を実感します。学校祭、修学旅行、部活動等、いろいろ思い出がいっぱいです。自分がいい教師だったとは恥ずかしくてとても言えませんが、皆さんと共に良い時代を送らせていただいたと感謝、感謝です。

数年を経て、家業のこともあり早期退職しました。天職と思って勤めた教員生活を離れる寂しさは格別でしたが、心機一転、気持ちを新たに地域に腰を据えました。こんにちわ、御苦労様ですと声かけし、ありがとうございますと挨拶する毎日。多忙でしたが、これも生き方として良かったと思っています。

さて、現在はというと、考えたくない後期高齢者に突入しました。余生をどうする？津島の桜や藤を愛でながら、小旅行と読書三昧です。健康に気を配りつつ運動を心がけて元気にしています。皆さんは人生どまん中。一層の御活躍をお祈りしています。



▼令和6年 大学合格者状況

	大学名	R6	大学名	R6	大学名	R6
国立	北海道大	2	尾道市立大	1	名学院大	32(1)
	北見工業大	2	高知県立大	1	名外語大	3
	室蘭工業大	1	北九州市立大	1	名商大	1
	山形大	2	公立大計	98(5)	名女大	17
	富山大	1	早稲田大	1(1)	名経大	1
	福井大	8	芝浦工業大	1	名学芸大	3
	信州大	2	東京理科大	3(1)	名文理大	1
	岐阜大	9	日本大	2	名芸大	7
	名古屋大	4(1)	法政大	3(2)	名造形大	1
	愛知教育大	9(1)	東海大	5	南山大	96
	名古屋工業大	3	神奈川大	4	日福大	16
	三重大	17	金沢工業大	1	人間環境大	6
	滋賀大	1	岐阜聖徳学園大	49(2)	日赤豊田大	2
	神戸大	1	岐阜医療科大	8	一宮研伸大	10
	鳥取大	1	愛知大	187(2)	藤田医科大	6
	九州大	1	愛知医科大	2	名城大	159(6)
	福岡教育大	2	愛知工業大	71(1)	松本歯科大学	1(1)
	佐賀大	1	愛知淑徳大	168	鈴鹿医療大	16(2)
	鹿児島大	1	愛知学院大	116	四日市看護	3
鹿屋体育大	1	愛知東邦大	2	長浜バイオ大	5	
琉球大	1(1)	桜花学園大	5	京都産大	1	
秋田県立大	1	金城学院大	31(1)	同志社大	5	
高崎経済大	1	修文大	10	立命館大	16(6)	
富山県立大	1(1)	相山女学園大	42	龍谷大	1	
諏訪東京理科大	1	中大	18	関西大	6(4)	
長野大	1(1)	中京大	39(3)	近畿大	21(11)	
静岡県立大	2	至学館大	9	関西外語大	6	
愛知県立大	8	中部大	79(2)	その他の	11(4)	
名古屋市大	2	東海学園大	19	私立大計	1332(50)	
三重県看大	2	同朋大	3	短三重	1	
滋賀県立大	4	豊田工業大	2(1)	短その他	1	
福知山大	1			短大計	2	
県立広島大	1					

▼最近4年間卒業生動向

		令和6年	令和5年	令和4年	平成3年				
卒業生数	女	351	173	348	169	354	180	352	176
	男	178	178	179	174	174	174	176	176
大学進学	女	317	154	315	149	328	162	315	153
	男	163	163	166	166	166	166	162	162
短大進学	女	2	2	5	5	6	6	10	8
	男	0	0	0	0	0	0	10	2
専・種各学	女	14	12	10	9	7	7	10	10
	男	2	2	1	1	1	1	10	0
文科学科省大	女	0	0	1	0	0	0	1	0
	男	0	0	1	1	0	0	1	1
浪人	女	18	2	17	6	11	4	15	4
	男	13	13	11	11	7	7	11	11
就職	女	0	0	0	0	1	1	1	1
	男	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0

ホームページのご案内

三稜会では、創立110周年記念事業の一環として、諸先輩のご尽力をいただきながらホームページを立ち上げました。多くの卒業生の方々のお陰で、様々な情報を発信することができるようになりました。

ますます情報化が進み、浸透して行く今日、当会においても情報の発信をより広く、スピーディーに行うために、ホームページを積極的に利用活用したいと考えております、その一環として、まずはリニューアルを行いました。

今後、皆様からのアイデアをいただきながら、新しい時代にマッチした変化を目指していきたいと考えております。

何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



三稜会HP

<http://www.sanryokai.com>



活動報告・意見

卒業生の活動、活躍などお知らせください。またご意見などいただければ幸いです。

info@sanryokai.com

ホームページ担当 北角浩一 (32回生)

部活動の記録

《全日制課程》

男子ハンドボール部が第78回愛知県総合体育大会において健闘躍進し、県大会ベスト8に入りました。また、サッカー部、男子バレーボール部、女子テニス部団体が、同総合体育大会尾張支部予選会で優勝を果たしました。中でも、サッカー部は1986年以来38年ぶりの優勝を成し遂げました。

第50回東海パワーリフティング選手権大会において、3年石川知奈さんが優勝し、全国大会への出場が決まりました。

第14回全国高等学校女子合同チームラグビーフットボール大会に3年磯野安那さんが愛知県代表として選出され、全国大会へ出場することになりました。

サッカー部



《定時制課程》

第75回愛知県高等学校校定時制通信制総合体育大会において、剣道競技で竹岡優吾くんが県2位になり、8月に東京で行われる定時制通信制課程の全国大会に出場します。

ハンドボール部



剣道部(竹岡くん 写真右側)

